

けやき倶楽部歴史グループ 例会 5 月度活動報告

日時	2021 年 4 月 21 日～ 2021 年 5 月 17 日
場所	会員各自宅で オンライン例会
参加数	資料提出： 4 名+ (4 月資料) オンライン例会参加者：Aok・Skt・Tkd・Ydk・Sm・Tyd・Wkt・Sky・Mcm・Ask・Tcd・Ymd・Kby・Ari・Wty・Ykt・Knt・Uen・Tki・Okky・Wkb・Ykw・Hrb 23 名
例会内容	<p>4/27 01-980・Wkb「両統迭立と南北朝について [概要]」</p> <p>5/1 02-935・Okky「惣領制の揺らぎ」5/13 改訂版に変更</p> <p>5/3 03-623・Tki「佐々木道誉・林家辰三郎著-平凡社～」</p> <p>5/8 04-559・Wkb「相続」</p> <p>5/9 05-980・Wkb「訴訟制度について / 参考図表・鎌倉幕府機構図」</p> <p>例会 5 月 18 日 13:30-16:00</p> <p>4 月-07 922・Uen「弘安徳政における国分寺・一宮の興行について」頼朝が鎌倉に幕府を置いた意味は。頼朝は京に戻りたかったが 関東武士の拠点・幕府を開く。朝廷と幕府にとっての国分寺・一宮とは。</p> <p>05-01 980・Wkb 纏め＝「皇位継承をめぐる持明院統と大覚寺統による両統迭立の発生と経緯、南北朝の分裂そして南北朝の合一に至る鎌倉時代後期から室町時代前期までの 100 年以上にわたる大まかな流れと主な歴史的な出来事を把握した。」</p> <p>05-02 935・Okky 纏め＝「鎌倉幕府は惣領制を御家人制度の基盤として、鎌倉殿→惣領→庶子という支配体制を構築していた。当時は親権に基づき分割相続が行われていたが、御家人たちは代を重ねるにしがたい所領が小さくなってゆき困窮するようになった。薩摩に移住した入来院氏も、一族内で所領相論が多発した。そして、惣領の地位は共同知行的なものから南北朝内乱の時代に次第に単独相続になっていった」 (☆4 頁を参考に 3 頁の系図をみると理解 OK。平山)</p> <p>05-04 559・Wkb「相続」沖山レポートうけ土地制度から考える。千葉一族 (守護) 渋谷氏 (一般御家人) を例に相続をみる。</p> <p>05-03 623・Tki「佐々木道誉 林屋辰三郎・平凡社 1995 発行」道誉は法号、この時代の天下人は貴種が条件＝佐々木氏は NO3。文武両道のバサラ大名とも。道誉関係事項年表の併記。</p> <p>◎05-05. Wkb 資料＝6 月例会に持ち越し。</p>
次回例会	例会 6 月 15 日 (火) 13:30-15:30 テキスト「鎌倉幕府と朝廷」5 月資料と第五章。 分科会 6 月 15 日 (火) 10:30-12:00 テキスト「東インド会社～」第一章続き。
次々回例会	例会 7 月 20 日 (火) 13:30-15:30 テキスト「鎌倉幕府と朝廷」第五章。 分科会 7 月 20 日 (火) 10:30-12:00 テキスト「東インド会社～」第二章。